

令和6年 10月 7日

## 令和6年度 第5回 安全衛生・CS WG 議事要旨(案)

I. 日 時 : 令和6年 10月 7日(月) 15:00~17:00

II. 場 所 : 木住協6階会議室

III. 出席者(敬称略) 欠席者はアンダーライン (出席者9名)

委員長 : 秋本 正人(住友林業(株))

リーダー : 瀧澤 哲也(住友林業(株))

委員 : 谷口 哲哉((株)日本ハウスホールディングス)、  
楡井 洋(古河林業(株))、  
杉山 勝也(ポラテック(株))、牧内 博行((株)AQ Group)、  
嶋田 味穂(大和ハウス工業(株))

オブザーバー : 武永 祐嗣(株)プラネックス

事務局 : 鈴木 保宏、松澤 ひろ美

### 【議事事項】

1. 前回議事録の確認 (資料1)

・事務局で読み上げ、修正なし。

2. 生産技術委員会 YouTube セミナー動画視聴回数(9/30現在) (資料2)

視聴例でいうと、

【ヒューマンエラーによる墜転落災害の防止策】128→157、安全衛生CS関連に限らず、全体的に、現状維持をしながら微増傾向となっている。

3. 安全帯かけ忘れ防止装置「ハーネスノーティファイ」について (資料3)

(秋本委員長)

[ICT研究開発事例]安全帯かけ忘れ防止装置「ハーネスノーティファイ」について  
エリアセンサーを安全帯着用義務のある場所に置き、安全帯(ハーネス)にハーネスノーティファイを取り付けることで、エリア内でフックを掛けていないと本人に警告音を鳴らす装置。

管理者はリアルタイムで使用状況や過去のログをスマホやPCにて確認することができる。設置個所からの距離を半径約5m、約20m、約30mの3つの範囲で設定。意見として、安全帯をエリアセンサー範囲内でつける事を大前提でないと使えないのでは。

4. 安全関連書籍「電動・エア工具と脚立安全作業のポイント」にて (資料書籍)

1) 前回の訂正確認

P5 : 斜めを漢字に修正。8頁: 歯の方向の入れ直し。P10: 斜め(ワリ仮名修正)。

P11: 手も切り、材料がブレて～の文章を変更

前回部分 (9月)

P16～P21 再修正部分について、プラネックス武永様より説明

P16 「作業手順に問題はありませんか？」より

発生状況一覧の一番下の●ポチを外す。 削除済

P18 4コマ目 右

・「打込力が以前より強くなった時」のケースはないのではないかと。 → 削除  
→「カラ打ちの回数が増えた時」修正

P19 「エアホースに摩耗がない」というより、ねじれ、漏れ等のほうがいいのでは。

→「ねじれ、折れなどが無い」修正

下文章 「作業を再開する前にも上記の安全点検を実施する。」修正

P20 1コマ目 高所での作業ではエアホースを固定する → 余長をとって固定する  
→変更

2.3コマ目 フルハーネスの絵へ→変更 屋根足場の絵は省略

※但し書きはそのまま

4コマ目 コンプレッサの絵、最新のものを→マキタの絵に変更

P21 1コマ目

「建方で作業中、養生シート敷込み職人と接触し」の養生シート職人を作業順番  
上、違和感があるため、他の作業員へ変更。

「釘が刺さる」→「誤射する」へ変更

2コマ目

「斜に釘を～」の「斜」は「斜め」ではないかと。P10も同様。→修正済

「釘が滑り～」 「釘打ち機が滑り～」に変更 →修正済

「手や足を～」 この場合「足」はいらないのではないかと

材料にしっかり、釘打ち機を固定する等、表記検討。脚立の絵、検討。

3コマ目

「釘が発射して～」を「誤射され～」に変更

新規 P22～確認

P22 「もしもの釘打機災害時には・・・」 → 確認済

P23 「ディスクグラインダー作業の安全」

- ・実質ディスクグラインダーの作業が減っている。
- ・ディスクグラインダーなのかディスクグラインダなのか、正しい名前は？  
→ メーカーはディスクグラインダ（マキタ等の表示）
- ・現在は、コードレスが増えて手元のスイッチが当たり前。
- ・昔のコード付きは、スイッチが後ろにある。そのことを知らない人もいる。
- ・古い物を使っている割合がどれくらいなのか、どこかに新しい物と古い物を載せておけば分かり易い。両方載せるようレイアウトを考えて検討。
- ・P23 の事例は P24, 25 にもつながる。変えると 3 ページ影響する。  
→このまま変更なし

P24 「作業者はなぜ「木工用のご歯」をグラインダーに取付けたのか？」

- P25
- ・グラインダーを丸のことして使うのは違法。  
(グラインダーの開口角は 180 度で、丸のことして使用する際の、安全基準を満たしていない。回転数も違うので非常に危険)。
  - ・2 行目「いまこの木工用のご歯」の文章が古い→削除含め、検討

- P26
- ・1 目文書、「かんたんにいえば」を漢字にする。
  - ・2 目、グラインダーは時速 200Km ではない。砥石のこと。
  - ・砥石の交換と取替え時の 3 分間の試運転をするには、特別教育が必要。
  - ・研削砥石は磨くものだが、切断砥石もある。切断砥石はカバーが必要。

- P27
- ・切断砥石はカバーをつけなければいけない。切断面に押し付けない。
  - ・1 目の絵 砥石とピカピカの関連性が分からない
  - ・2 目の絵 砥石に合わせた～の文章に、グラインダー本体の回転数に合わせた砥石に表現を変更。
  - ・3 目の絵 研削面に強く押し付け 15～30 度は、同じ絵があるので纏める。
  - ・6 目の絵 本体と砥石のカバーの問題と最高使用周速度を入れる。

※内容が盛りだくさんなので、武永様に調整してもらう。

P28 「よくあるグラインダーの災害事例と防止策」

- 設備工事時の事例を入れる。
- 災害事例は少ないが工具（ジグソー・レシプロソー）例にマルチツールを追加
- 一番上の絵 文書訂正  
軍手をしてを削除。外壁サイディングの前にリフォーム工事中。  
軍手を巻き込んで → 軍手が巻き込まれ  
軍手をしていたから、骨折までしたことを言いたいので、  
軍手使用禁止を言いたい。
- 二番目の絵（上記の設備業者災害事例に入れる。P29のワイヤーブラシ例も）  
設備（水道屋）業者等、柵工事などであばれるケースがあるが、  
現在、コードレスも多いので差し替えも検討。
- 三番目の絵  
歯が押さえこまれて、キックバック。  
用途にあった工具＝レシプロソーというよりは、鉄筋カッター？

※ 大和ハウス 嶋田委員、住友林業 瀧澤リーダーより、グラインダーで起きた事故の事例を送ってもらう。

P29 このまま変更なし

P30 目に異物が～の表現が現実的ではないので、保護眼鏡の着用に変えて、下にスペースがあくのでマルチツール紹介も含めてレイアウト検討。

次回、P31～

5. その他フリートーク（10月3.4日安全大会に参加して等）

嶋田委員：自社（大和ハウス様）の発表が多いので、他の会社様も出さないと全て大和ハウスになってしまう。

発表内容はデジタル化が多かった。今までは導入部分の話だったが、最近はメリットが見えたうえで活用している発表が多かった。DXを使うとコミュニケーションをとらなくなる点が懸念されているが、そうならないようなDXのメリットをより使えるように工夫をしている。また、年々発表者が上手になってきた。

武永委員：大和ハウス様の応援を含め、参加者が非常に多く立ち見があった。

低住協の住宅小町「女性技術者問題」が興味深かった。女性に限らず技術者全体の働き方を変えていかないと働き易い職場にならない点など。

鈴木部長：機器だけの提供だと難しいが、協力業者の教育を含め、一緒に進めているのがさすがである。住宅小町について、営業は、お客様の休みに合わせて土日と先入観を持っているが、調査をするとお客様は土日休むのは苦ではなかった。こちらの先入観事態を変えて働き方改革に活かせればと、たいへん勉強になった。

秋本委員長：DXの話が多かった。職人さんの啓発がスマホになる。積水ハウスが職人さんを使って脚立から落ちる動画をロング、ショートと作っていて入退場時にチェックと合わせて見せている。

武永委員：日経新聞の33面、公共発注工事の6割が、熱中症対策として、猛暑日を踏まえた工期で発注する。となった。地域によって5日間とか3日間を見込む。

**【今後の予定】**

令和6年度 第6回

・安全衛生・CS WG 令和6年11月7日（木）15：00～17：00 木住協6階

以上